

「秋田市探訪 ～土崎編～」が開講

…あきたふるさと学講座・土崎キャンパス…



8月25日(土), 土崎キャンパス(D講座・全8回)「秋田市探訪～土崎編～」が, 秋田市北部市民サービスセンター(キタスカ)を会場に開講し, 約80名の方々が受講しました。開講式では, 当センターの所長 金森正也の挨拶の後, 来賓の秋田市教育委員会生涯学習室主席主査の長谷川英悦氏よりご挨拶を頂戴しました。

午前のD1講座は「安東氏と秋田湊」と題して, 講師の元県立博物館副館長の加藤民夫氏から講話がありました。この中で加藤氏は海洋豪族の安東氏が秋田湊を治めるまでの経緯と, 秋田湊をとりまく諸勢力についてわか

りやすく説明されました。また, 戦国期をとりまく景観については「アジュール(無縁自立地帯)的な性格が強く諸勢力との均衡で交易の特権を維持している」と話され, 受講者は真剣に講義に聞き入っていました。

受講者からは「湊安東氏の役割と湊商人の関係についてよく理解できた」「地元に住む者として, 地元への見方が変わった」等の感想が寄せられました。

午後のD2講座では, 秋田大学の渡辺英夫氏が講師を務め, 「羽州街道と北前船」と題して講話がありました。渡辺氏は「おもしろいことに土崎は宿場町として認められていなかった。港町という形ですでに浸透しており, 宿場町となったのは時代が進んでからである」と説明され, 受講者の中で地元に住んでいる人たちは大きくうなずいていました。

また, 古い文献をもとに羽州街道の境口番所の役目などについても触れました。北前船に関する話では「蝦夷地では何でも売れるので, 多少質の劣る米を積んでも大丈夫」というエピソードも紹介され, 密度の濃い講座に受講者は満足そうでした。

受講者からは「江戸初期の土崎湊の位置付けを改めて教えられた」「北前船について新しい見方を学んだ」等の感想が寄せられました。



渡辺英夫氏

C講座「道の文化史 ～羽州街道をめぐって～」

…あきたふるさと学講座・生涯学習センター会場…

9月1日(土)にはC5講座が開かれました。講師を務めたのは, 元県立図書館館長の半田和彦氏で, 「羽州街道と参勤交代」と題してお話しされました。

武家諸法度上での参勤交代の規定や, 県内各大名の参勤のルート, 人数や構成, 参勤が文化や物流へ及ぼした影響といった項目について, 豊富な資料で明快な講義が展開されました。大名行列には, その威容を整えるために, 現代で言えば人材派遣業者から派遣された人物が相当数混じっていた…といったエピソードに, 受講者は興味深く聞き入っていました。

講座の後には, 「豊富な資料とお話を探求心をくすぐられました」「随所におりこまれる現代との対比が分かりやすかった」「続きを聞く機会が欲しいです」といった感想が寄せられ, 大変好評でした。



半田和彦氏

A講座「秋田歴史人物伝」

…あきたふるさと学講座・生涯学習センター会場…



加藤民夫氏

9月8日(土)には「安藤愛季と小野寺輝道」と題してA3講座が開かれました。講師はD講座も担当された加藤民夫氏でした。140名を超える受講者は、小野寺輝道を内陸型戦国大名、安藤愛季を海洋型戦国大名と位置づけての北出羽における安藤・小野寺の役割とそれに関連した動きについてのお話に興味深く聞き入っていました。

受講者からは、「安藤と小野寺の盛衰の跡が整理できたように思う」「今回、16世紀の(秋田周辺の)歴史で出てきた豪族・大名などの話をもとに、県内を探訪してみたいと思う」などの感想があり、大変好評でした。

B講座「あい LOVE あきた」

…あきたふるさと学講座・生涯学習センター会場…

9月8日(土)午後には元男鹿工業高校ラグビー部監督で現ノースアジア大学ラグビー部監督の内藤徳男氏を講師に迎え、B3講座「打倒秋工!めざせ花園~新設・男鹿工の挑戦~」が開かれました。内藤氏はVTR視聴の後、写真を提示しながら、自身のラグビー歴から“花園出場”を含めた監督時代のエピソード、ラグビーの教育的価値などについて語られ、貴重なお話をたくさん伺うことができました。これまで報道等では伝えられることがなかった内藤氏の素顔に、受講者からは「秋工OBですが、内藤監督の人柄を知り感激しました。」といった感想も寄せられました。



草野心平(福島) かえるの詩人『第百階級』

…絆を求めて 東北の詩人たち④ シニアコーディネーター企画講座…



9月6日(木)の第3回は、福島出身の詩人草野心平の『第百階級』をテーマに、講座が開催されました。講師の北条常久シニアコーディネーターは「日本と中国は国民レベルでは非常に仲がよい。国家間となると利害関係によって衝突してしまう。中国で学んだ草野心平は同人仲間の黄瀛(こうえい)との友情のなかで日中の関係に悩んでいたと思う」と話し、受講者は熱心にメモを取っていました。

受講者からは「心平がここまで中国と密接なつながりがあったことは正直知らなかったので、本当に勉強になった」等の感想が寄せられました。

「キノコと木の実 ~菌床栽培に挑戦~」

…連携講座・不思議!キノコゼミ…

9月14日(金)美の国アクティブカレッジ連携講座「不思議!キノコゼミ(全2回)」の2回目が秋田県森林技術センターを会場に開催されました。

講師を勤めた県森林技術センターの菅原冬樹主任研究員は、「秋田の海岸の松林はゴミや泥などで汚れていたが、それを取り除くことで『松露(しょうろ:希少価値の高いキノコ)』が簡単に生えてくる。ちょっとしたことで美味しいキノコにありつける」とユーモアたっぷりに説明されました。

受講者全員が「ゴールデンシメジ」の別名を持つ「タモギタケ」の種菌を培地へ植え付ける作業を体験し、菌床をお土産に持ち帰りました。うまくいけば11月末には生えてくるそうです。

